

一般社団法人長野県原種センター

平成30年度事業報告書

[概 況]

農業は国民生活に不可欠な食料の供給とともに、地域経済や文化を支え、景観形成や環境保全の役割を担う重要な産業ですが、産業構造の変化や流通・消費の多様化、情報通信技術の進展に伴い、農業者の減少や高齢化、農地利用の低下、農業生産の縮小など多くの課題を抱えています。

平成30年度は、TPP11協定やEUとの経済連携協定が発効し、農業の国際化が一層進むとともに、米政策改革や収入保険の導入、主要農作物種子法の廃止など、農業分野での制度改革が進展しました。

また、長野県においては、新たな「食と農業農村振興計画」がスタートし、競争力の高い農産物の生産や新品種の開発・普及等の施策の展開とともに、「長野県主要農作物種子条例」の制定に向けた検討が行われています。

こうした状況の中、平成30年度の当センターの事業につきましては、会員をはじめ関係機関・団体、農業者等のご支援ご協力の下に、職員一丸となって取り組んでまいりました。

主要農作物等の原種・種子生産供給事業につきましては、日照不足や降雨・台風の影響により一部品目で計画数量を確保できない状況となりましたが、全体的にはほぼ需要数量を確保することができました。

野菜種子等の生産販売事業につきましては、天候不良で生産計画を下回る品目があったものの、備蓄種子と合わせて概ね需要に即した数量を確保できましたが、販売面では主力品目であるキャベツ・野沢菜・レタスの需要の減少傾向が続いており、計画・前年を下回る結果となりました。野菜等苗及び果樹原穂木等の生産販売事業につきましては、新品種への旺盛な需要等により計画を上回る結果となりました。きのこ母菌等生産販売事業につきましては、第6期事業(平成28～30年度)の計画に沿った事業運営と母菌の安全・安定供給ができました。

経営基盤を支える基本財産等の運用につきましては、国債等を中心とした安全かつ効率的な運用に努め、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

[各部・事業別の実施状況]

1. 総務部

(1) 総務関係

ア 基本財産の運用については、基本財産運用規程及び運用計画に基づき、長野県信連の定期貯金550万円及び20年利付国債5億円・30年利付国債5億円により、安全かつ効率的な運用に努めました。

また、特定資産等(減価償却引当資産等)その他財産の運用についても、基本財産の運用に準じて、長野県信連の定期貯金及び地方債・政府保証債による運用を行いました。

その結果、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

イ 公益目的支出計画の実施状況については、次のとおりです。(平成25年度より実施)

- 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌の生産販売(3事業)

- 29年度期末公益目的財産残額 2,083,359,806円
- 30年度公益目的収支差額(赤字額) △ 36,163,317円
- 30年度期末公益目的財産残額 2,047,196,489円
- 完了予定年月日 2097年3月31日(残り期間78年間)

ウ 固定資産については、新規取得や更新はありませんでした。

エ 主な開催行事

○ 平成30年

- 5月23日 平成29年度事業及び収支決算監査
- 〃 理事会書面決議(事業報告書・貸借対照表等の承認他)
- 6月14日 理事会(事業実施状況報告, 業務方法書の改正他)
- 〃 第11回通常総会(事業報告書・貸借対照表等の承認, 役員改選他)
- 〃 臨時理事会(理事長・副理事長・専務理事・常務理事の選定)

○ 平成31年

- 2月27日 理事会書面決議(事業計画書・収支予算書・基本財産運用計画の承認他)
- 3月25日 理事会(事業概要・基本財産等の管理(運用)状況報告他)
- 〃 第12回通常総会(事業計画書・収支予算書の承認, 役員補欠選任他)
- 〃 臨時理事会(常務理事の選定)

(2) 遺伝資源等保存事業

ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、受託方式により、植物遺伝資源種子 3,000点余の保存管理、長野県の農業関係試験場で新品種の育成等に用いる種子の入出庫を行いました。

また、信州の伝統野菜の種子の保存を行いました。

イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

2. 農産部

(1) 主要農作物原種生産供給事業

ア 長野県の主要農作物生産振興方針等に基づく種子生産計画に連動した原種生産計画を策定し、直営及び委託により高品質原種生産に努めました。

また、委託生産者の基本技術の励行と厳正な栽培管理の徹底を図るため、栽培記録簿及び栽培工程チェックリストの作成・提出を義務付けたほか、原種生産ほ場におけるほ場審査及び現地指導会の開催等による技術向上に努めました。

昨年度の種子伝染性病害の発生に対応して生産委託地域を変更するとともに、直営及び委託生産した全ての原種について試験場による保菌状況の調査を実施しました。

麦の原種生産については、病害や生育障害に対処するため、30年秋まきで直営採種ほの拡大と委託生産を行い、輪作体系での生産に取り組みました。

品質管理においては、生産した原種 12 品種・13 点について、DNA 分析による品種鑑定を行いました。

イ 水稲は、直営及び委託により、212 a で 9.6 t (計画比 96%) を生産し、備蓄原種等を含め 8.1 t を供給しました。

麦は、直営及び委託により、169 a で 6.3 t (計画比 97%) を生産し、備蓄原種を含め 6.8 t を供給しました。

大豆は、委託により、115 a で 1.7 t (計画比 88%) を生産し、備蓄原種を含め 1.8 t を供給しました。

そばは、委託により、320 a で 1.9 t (計画比 72%) を生産し、備蓄原種を含め 2.2 t を供給しました。

ウ 主要農作物原種全体では、生産は計画対比 92%、供給は前年対比 95%となりました。

(2) 主要農作物種子生産事業

ア 県の生産振興方針や需要動向を踏まえた種子生産計画を策定し、長野県、JA 全農長野、種子場 JA 及び関係団体と連携して、採種技術研修会や現地指導会を開催し生産者の技術向上に努めるとともに、作柄調査等により種子生産見込量の把握を行い、需要量の確保に努めました。

また、自然災害等の緊急時の備えと種子の安定供給のため、水稲・麦・大豆・そば種子の備蓄を行いました。

イ 水 稲

田植期以降 6 月中旬と 8 月中旬を除き高温で推移したことから生育は進み、県下各地の出穂期は平年より 2～7 日程度早まりました。9 月は秋雨前線や台風による断続的な降雨がありましたが、全県の収穫盛期は平年並となりました。また、県の作況指数は平年並みの 100 となりました。

種子生産については、茎数が平年並みからやや少なかったことや、8 月中旬の一時的な低温による肥大が抑制されたことなどから、一部の地域・品種の生産量は計画を下回りました。

種子伝染性病害については、水稲種子伝染性病害対策会議を通じ、採種 JA や関係機関と一体となって、早期根絶に向けた技術対策に取り組みました。採種ほでの発生は見られず一定の成果が確認されており、引き続き関係機関と連携して生産現場における基本技術の励行の徹底と効果的な防除対策に取り組んでまいります。

種子生産については、水稲種子全体で生産量 1,087 t、計画対比 97%、供給量は 966 t となりました。

ウ 麦

前作物の収穫遅れや台風によるほ場の滞水等の影響で播種が遅れ、2 月中旬まで低温で推移したため、生育量が小さく、茎数も少ない状況でしたが、3 月以降の高温で生育は回復傾向となり、出穂期が早まり、収穫時期も 5～10 日程度早まりました。また、降雨後の収穫となったものは品質低下が見られました。

種子生産については、播種作業の遅れや播種後の低温により、穂数が少なく細身となったことから、一部の品種の生産量は計画を下回りました。

県外からの当用注文や県内の需要動向を踏まえ、買増しや転用による種子の確保を行い、全体では生産量 302 t で計画対比 108%、供給量は 298 t となりました。

エ 大豆

適期の播種により出芽は良好となりましたが、7月上旬の降雨により湿害が発生しました。その後の高温・干ばつで開花期が高温で経過したことから、着莢への影響が見られました。

種子生産については、全ての品種で計画を下回り、全体では生産量 53 t で計画対比 86%、供給量は 65 t となりました。

オ そば

夏そばは、播種後の降雨により出芽が悪く、草丈が短く生育も劣ったことから、低収量となりました。

秋そばは、播種後の干ばつにより出芽が不揃いとなり、その後の台風の影響により倒伏が見られました。また、開花期以降、曇りや雨の日が多く日照時間が少なかったことから着粒が少なく、結実も劣り不作となりました。

種子生産については、夏そばは転用を含めて計画数量を確保しました。秋そばは、全ての品種が作柄不良により計画数量を下回りました。

そば種子全体では、生産量 23 t で計画対比 61%、供給量は 34 t となりました。

カ 主要農作物種子全体では、生産計画対比 98%となり、水稻・麦については備蓄種子を含めて需要に対応した種子の確保ができましたが、大豆・そばについては品種によっては需要見込みを下回る確保数量となりました。

(3) 主な開催行事

○ 平成 30 年

- 4 月 23 日 第 1 回農産専門委員会（大豆及びそば原種・採種ほ設置計画他）
- 4 月 26 日 大豆採種ほ設置会議・技術研修会
- 5 月 17～ 麦採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 上伊那・佐久浅間他）
24 日
- 5 月 21 日 麦原種ほ審査会（J A 信州うえだ）
24 日 麦原種ほ審査会（須坂市）
- 7 月 6 日 夏そば採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 上伊那）
- 7 月 25 日 第 2 回農産専門委員会（麦種子価格決定、水稻・大豆種子備蓄計画他）
- 8 月 8～ 大豆採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 松本ハイランド・信州うえだ他）
29 日
- 8 月 20～ 水稻採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 上伊那・みなみ信州他）
9 月 5 日
- 8 月 24 日 水稻原種ほ審査会（須坂市）
- 8 月 31 日 水稻原種ほ審査会（須坂市、J A 佐久浅間・中野市）

- 9月26日 第3回農産専門委員会（麦原種・採種ほ設置計画他）
- 9月27日 そば原種ほ審査会（JA信州うえだ）
- 〃 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会（JA信州うえだ・佐久浅間他）
- 10月3日 麦採種ほ設置会議・技術研修会
- 10月4日 そば原種ほ審査会（JA上伊那・信州諏訪）
- 〃 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会（JA上伊那・信州諏訪他）
- 10月5日 大豆原種ほ審査会（上田市）
- 12月12日 第4回農産専門委員会（水稻種子価格決定，水稻採種ほ設置方針他）

○ 平成31年

- 2月27日 第5回農産専門委員会（水稻原種・採種ほ設置計画，大豆種子価格決定）
- 3月6日 水稻採種ほ設置会議・技術研修会

3. 園芸部

(1) 野菜等種子生産事業

- ア 試験研究機関・関係団体の指導協力を得て、採種技術研修会や現地検討会を開催し、採種技術の向上や新たな採種農家の育成を図りました。
また、委託採種者の高齢化に対応した野菜等種子の安定生産に向けて、直営採種事業への取り組みを強化し、安定採種に努めました。
- イ キャベツについては、直営採種で越冬中の凍害により欠株が発生し大幅な減収となり、計画対比36%の生産となりました。
- ウ レタスについては、開花から登熟期の曇天や長雨等により、品種によって受精不良となったことから、計画対比91%の生産となりました。
- エ 野菜等種子全体では、備蓄種子を合わせ全品種とも概ね需要に即した数量を確保することができました。

(2) 野菜等種子販売事業

- ア キャベツについては、有望後継品種がない状況から減少傾向が続き、引き続き苦戦を強いられております。
- イ レタスについては、大手種苗会社による根腐病耐病性品種の販売により年々減少しております。中信地域での「シナノホープ」（レタス根腐病（レースⅠ）抵抗性品種）や、東信地域での「サマーエース」（晩抽性が強く形質の優れる）、「シナノパワー」（レタス根腐病（レースⅠ・Ⅱ）複合抵抗性品種）などは、会員・生産者から引き続き評価をいただいております。
- ウ 野菜等種子全体では、主力品目であるキャベツ・レタスの販売が減少していることから、計画比で64%、前年対比87%の販売となりました。

(3) 野菜等苗生産販売事業

ア イチゴ原苗については、会員・生産者からの安定的な需要があり、計画対比 102%の販売となりました。

イ わさび苗については、わさび需要の減少により販売数量は年々減少しておりますが、安定供給に向けて原原苗を更新し、高品質苗の生産に取り組んだことから、計画対比 130%の販売となりました。

ウ 野菜等苗全体では、計画対比 106%の販売となりました。

(4) 果樹原穂木等生産販売事業

ア 直営母樹園を活用した長野県職務育成品種等の原穂木の生産と供給に努めました。

イ ぶどう新品種「ブドウ長果 1 1」の原穂木供給が増加したことから、果樹種苗事業全体では、計画対比 120%の販売となりました。

(5) 園芸種苗事業全体では、計画対比 72%、前年対比 90%の販売となりました。

(6) きのか母菌等生産販売事業

ア 「第 6 期(平成 28~30 年度)きのか原種菌生産供給事業」の計画に基づき、製造等業務委託先である長野県農村工業研究所、JA 全農長野及び JA 種菌センターと連携し、長野県野菜花き試験場菌茸部の協力を得て、高品質母菌の安定供給に努めました。

また、県からの助成や JA 全農長野及び各 JA からの受託料・負担金により、円滑に事業を運営することができました。

イ 生産した母菌については、JA 種菌センター、県野菜花き試験場及び農家によるモニター栽培を実施し、母菌の変異・異変の情報を早期に把握・対応するなど、母菌の品質管理に努めました。

ウ えのきたけ母菌については、長野県農工研育成の「G-6号」や「iQ2」、県野菜花き試験場育成の「シナノアーリー」の生産を行い、1,136 本を販売しました。

ぶなしめじ母菌については、長野県農工研育成の「NN-11・12」の生産を行い、806 本を販売しました。

その他、県野菜花き試験場育成のバイリング「シナノ淡雪」を合わせ、母菌全体では 1,944 本を生産・販売し、計画数量比 101%・計画金額比 101%となりました。

(7) 主な開催行事

○ 平成 30 年

5 月 23 日 トマト委託採種ほ母株調査及びピーマン採種栽培講習会 (JA あづみ他)

6 月 28 日 ピーマン採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会 (JA あづみ他)

7 月 10 日 キャベツ交配種子栽培検定調査 (塩尻市)

7 月 26 日 県職務育成品種果樹苗木生産状況調査 (~10 月 3 日, 果樹協・JA)

- 8月9日 果菜類交配種子栽培検定調査（JAあづみ）
- 8月29日 レタス種子栽培検定調査（上田市）
- 9月13日 果菜類交配種子調製技術研修会（JAあづみ）
- 11月15日 だいこん採種ほ母本選抜及び採種技術研修会（JAながの）

○ 平成31年

- 1月28日 園芸専門委員会きのか部会（平成31年度きのか原種菌生産供給事業基本方針・母菌価格の決定）

4. 種子事故・災害等補填事業

生産または販売を行う種苗について、気象災害や不慮の事故により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の積立て及び積立金より補填金の支払いを行いました。

(1) 準備金の積立て 30,567,087円

(2) 補填金の支払い

ア 主要農作物種子共助 65,640円

水稲種子生産におけるほ場審査不合格にともなう補填

イ 主要農作物種子残量処理 34,088,038円

水稲種子の残量処理等にともなう差損補填

ウ 園芸種苗共助 60,000円

ピーマン種子委託生産における気象災害等にともなう減収補填

エ 計 34,213,678円

[事業報告書 別表]

平成30年度種苗等生産供給・販売実績

1. 主要農作物等原種

(1) 水稻原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
うるち	コシヒカリ	kg 6,240	kg 6,080	% 97	kg 5,971	飼料イネ 奨励・認定品種以外の品種
	あきたこまち	960	960	100	737	
	風さやか	0	250	—	482	
	ひとめぼれ	480	640	133	92	
	天竜乙女	190	215	113	49	
	ゆめしなの	0	0	—	30	
	きらりん	190	0	—	16	
	ふくおこし	190	260	136	56	
	ミルキークイーン	0	130	—	42	
	(小計)	8,250	8,535	103	7,475	
もち	もちひかり	480	230	47	100	
	カグヤモチ	190	180	94	45	
	モリモリモチ	290	130	44	50	
	オラガモチ	0	0	—	18	
	(小計)	960	540	56	213	
酒米 (醸造用米)	美山錦	580	390	67	290	出願名称: 山恵錦
	ひとごごち	0	0	—	71	
	金紋錦	190	160	84	80	
	しらかば錦	0	0	—	5	
	信交酒545号	0	0	—	13	
	(小計)	770	550	71	459	
合計		9,980	9,625	96	8,147	

(2) 麦原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
大 麦	シュンライ	kg 1,125	kg 590	% 52	kg 1,120	出願名称: ホワイトファイバー
	ファイバースノウ	450	460	102	700	
	東山皮糯109号	1,080	800	74	600	
	(小計)	2,655	1,850	69	2,420	
小 麦	ゆめきらり	700	770	110	1,035	
	ハナマンテン	700	860	122	850	
	しゅんよう	1,050	1,230	117	920	
	シラネコムギ	700	700	100	630	
	ゆめかおり	0	0	—	558	
	ユメセイキ	700	950	135	486	
	(小計)	3,850	4,510	117	4,479	
合計		6,505	6,360	97	6,899	

(3)大豆原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計 画 比	数 量	
大 豆	ナカセンナリ	kg 1,050	kg 1,050	% 100	kg 1,135	
	すずほまれ	450	450	100	375	
	ギンレイ	225	0	—	128	
	つぶほまれ	225	225	100	214	
	すずろまん	0	0	—	31	
合 計		1,950	1,725	88	1,883	

(4)そば原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計 画 比	数 量	
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	kg 1,800	kg 1,125	% 62	kg 1,620	商標: 信州ひすいそば
	長野S8号	765	690	90	520	
	タチアカネ	140	135	96	135	
合 計		2,705	1,950	72	2,275	

※ 生産実績は30年産の原種数量であり、供給実績は30年度中(4月～3月)に供給した原種数量である。(備蓄等を含む)

2. 主要農作物等種子

(1)水稻種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
う る ち	コシヒカリ	kg 834,240	kg 818,660	% 98	kg 718,498	飼料イネ
	あきたこまち	114,940	99,580	86	99,568	
	風さやか	37,440	50,020	133	51,749	
	ひとめぼれ	19,200	19,200	100	14,252	
	天竜乙女	5,280	5,280	100	4,380	
	ゆめしなの	5,180	5,180	100	3,000	
	きらりん	3,700	2,480	67	1,956	
	ふくおこし	7,200	6,840	95	6,672	
(小計)		1,027,180	1,007,240	98	900,075	
も ち	もちひかり	16,660	15,120	90	11,952	
	カグヤモチ	5,400	5,380	99	3,240	
	モリモリモチ	5,400	5,400	100	5,236	
	オラガモチ	2,240	1,500	66	652	
(小計)		29,700	27,400	92	21,080	
酒 米 (醸造用米)	美山錦	38,400	37,040	96	31,556	出願名称: 山恵錦
	ひとごごち	12,000	11,560	96	9,282	
	金紋錦	2,400	2,400	100	2,568	
	しらかば錦	960	980	102	952	
	信交酒545号	960	1,000	104	1,164	
(小計)		54,720	52,980	96	45,522	
合 計		1,111,600	1,087,620	97	966,677	

(2)麦種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 麦		kg	kg	%	kg	出願名称：ホワイトファイバー
	シュンライ	54,000	49,125	90	50,725	
	ファイバースノウ	18,000	29,175	162	35,325	
	東山皮糯109号	40,500	48,625	120	44,150	
	(小計)	112,500	126,925	112	130,200	
小 麦	ゆめきらり	42,000	42,000	100	38,340	
	ハナマンテン	29,760	35,760	120	33,540	
	しゅんよう	34,500	38,700	112	37,350	
	シラネコムギ	21,000	22,050	105	22,200	
	ゆめかおり	19,260	20,250	105	17,820	
	ユメセイキ	21,000	16,980	80	18,810	
	(小計)	167,520	175,740	104	168,060	
合 計		280,020	302,665	108	298,260	

(3)大豆種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 豆		kg	kg	%	kg	
	ナカセンナリ	40,820	39,680	97	48,600	
	すずほまれ	10,500	7,060	67	7,920	
	ギンレイ	5,260	4,020	76	4,940	
	つぶほまれ	5,100	2,860	56	3,340	
	すずろまん	600	120	20	660	
合 計		62,280	53,740	86	65,460	

(4)そば種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
夏 そ ば	しなの夏そば	1,800	1,800	100	4,725	商標：信州ひすいそば
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	26,505	15,840	59	23,198	
	長野S8号	8,348	4,388	52	5,040	
	タチアカネ	1,755	1,575	89	1,350	
	(小計)	36,608	21,803	59	29,588	
合 計		38,408	23,603	61	34,313	

※ 生産実績は30年産の種子数量であり、供給量は30年度中(4月～3月)に供給された種子量である。(備蓄等を含む)

3. 野菜等種子

種 類	品 種	生産実績		販売実績			
		数量	計画比	数量	計画比	金額	計画比
キャベツ	S E	0	%	0	%	千円	%
	Y R S E 他	—	—	32.4	75	5,911	81
		34.1	36	14.0	60	2,873	63
	(小計)	34.1	36	46.4	70	8,784	74
野 沢 菜	ニューシナノ	—	—	72.8	73	1,509	85
レ タ ス	シナノホープ	19.1	64	14.3	61	4,616	58
	サマーエース	6.5	65	6.8	67	2,297	64
	シナノスター他	43.5	121	11.3	44	4,564	41
	(小計)	69.1	91	32.4	55	11,477	50
パセリー	洗 馬 系	—	—	13.2	44	337	43
だいこん	戸隠おろし他	4.3	54	13.4	89	456	89
ト マ ト	なつのしゅん	5.0	71	9.0	45	2,291	47
	ろじゆたか他	1.7	85	5.1	55	1,227	60
	(小計)	6.7	74	14.1	48	3,518	51
ピーマン	ベルホープ	23.1	96	28.5	95	6,321	95
	ベルマサリ	3.3	—	2.4	60	653	65
	台 パ ワ ー	—	—	1.0	33	323	43
	(小計)	26.4	110	31.9	86	7,297	87
アスパラガス	ずっとデルチェ他	5.2	40	1.2	40	171	43
えんどう	さやたろう	—	—	16.0	160	68	184
色大豆原種	華 大 黒 他	806.0	81	856.0	74	1,141	78
合 計		951.8	78	1,097.4	73	34,758	63
せんぶり		g	%	g	%	千円	%
	みまき1号他	1,470	327	1,635	363	389	389
総 合 計						千円	%
						35,147	64

4. 野菜等苗

種 類	品 種	苗形態	生産実績	販売実績			
			数量	数量	計画比	金額	計画比
イチゴ原苗	サマープリンセス サマーエンジェル 長・野53号 章 姫 紅 ほ っ ぺ (小計)	鉢 苗	本	本	%	千円	%
			1,090	1,090	57	363	62
			0	0	0	0	0
			5,852	5,852	172	2,290	169
			8,457	8,457	85	2,673	86
			3,108	3,108	84	982	87
			18,507	18,507	97	6,308	102
わさび培養苗	長・野23号	プラグ・鉢苗	9,990	9,990	129	1,379	130
採種用原苗	レ タ ス 他	鉢 苗	1,518	1,518	101	66	106
合 計			30,015	30,015	106	7,753	106

5. 果樹原穂木他

種類	品種	生産実績	販売実績					
		数量	数量	計画比	金額	計画比		
原穂木 穂木	りんご	シナノスイート	kg 19.0	kg 19.0	% 76	千円 53	% 64	
		シナノゴールド	7.0	7.0	47	36	66	
		シナノリップ	11.5	11.5	230	112	207	
		長ふ12他	28.5	28.5	204	131	211	
		(小計)	66.0	66.0	112	332	131	
	なし	サザンスイート	3.0	3.0	300	19	271	
		ぶどう	ナガノパープル	6.0	6.0	600	39	557
			ブドウ長果11	96.7	96.7	—	1,044	—
	(小計)	102.7	102.7	201	1,083	2,982		
	もも	なつつこ	5.0	5.0	100	32	100	
		紅晩夏	2.0	2.0	67	11	69	
		(小計)	7.0	7.0	88	43	90	
	ネクタリン	サマークリスタル	1.0	1.0	100	5	100	
		ネクタリン長果2	4.0	4.0	—	43	—	
		(小計)	5.0	5.0	125	48	130	
	プルー	サマーキュート他	0.5	0.5	50	3	50	
	あんず	信州大実他	3.0	3.0	100	6	100	
		すもも	シナノパール	1.0	1.0	100	10	100
	ぶどう台木	5 B B	85.0	85.0	142	322	142	
101-14		85.0	85.0	106	322	107		
(小計)		170.0	170.0	121	644	122		
合計		358.2	358.2	131	2,188	150		
果樹証紙		枚 79,770	枚 79,770	% 93	千円 2,473	% 102		
総合計					千円 4,661	% 120		

6. きのこ母菌他

種類	品種	生産実績	販売実績				
		数量	数量	計画比	金額	計画比	
母菌	えのきたけ	長野農工研G-6号	本 295	本 295	% 99	千円 1,838	% 99
		長野農工研iQ2	614	614	102	3,826	102
		シナノアーリー	227	227	100	1,415	100
		(小計)	1,136	1,136	101	7,079	101
	ぶなしめじ	NN-11	52	52	100	324	100
		NN-12	754	754	100	4,699	100
		(小計)	806	806	100	5,023	100
	バイリング	シナノ淡雪	2	2	—	12	—
	合計		1,944	1,944	101	12,114	101